



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

JUN. 1986 IV-12

Y's Men
 International
 Convention
 Aarhus 1986



1985-1986 THEME

「Service with Enthusiasm」 — 熱誠もて奉仕を — IP
 「How Young are You ?」 — 若がえるワイズ, 湧きおこるY魂 — RD
 「積極的な行動でワイズの輪を広げよう」 DG
 「着こなそう ふだん着のワイズダム」 P

Thought for the Month

But Jesus called them to him, saying, "Let the children come to me, and do not hinder them for to such belongs the kingdom of God. Truly, I say to you, whoever does not receive the kingdom of God like a child shall not enter it."

するとイエスは幼な子らと呼ばひ寄せて言われた。「幼な子らをおわたしのところに来るままにしておきなさい。止めてはならない。神の国はこのような者の国である。よく聞いておくがよい。だれでも幼な子のように神の国を受けいれる者でなければ、そこにはいることは決してできない。」 (ルカによる福音書第18章16, 17節)

A GIFT FROM NUUANU, HAWAII

—ブラザークラブからの贈物—



WAIKIKI BEACH HOTEL AREA



HULA DANCER



AERIAL OF THE BEACH SURROUNDING
 DIAMOND HEAD



SUNSET AT KONA, HAWAII

THE CENTENNIAL

今月の聖句によせて

この世は花園、こどもは花、めぐみの雨つゆ、愛の日かげ、父なる御神の、日々たまたいで、さかしめたもよ、色香きよく。

三輪源造氏(1871~1946)によるこの美しい詩といきいきしたリズムや音の詠躍が子供の日にふさわしい讚美歌となっています。

6月8日は子供の日(花の日)。子供たちの信仰の成長を祈り、将来キリスト者としての献身を願う礼拝

を守ると共にみんなが花をもちより、自然に現われる神の栄光を讃える意義深い日です。

主イエスは子供たちについて多くのみ言葉を語られています。彼等はすべてを神に頼り、また意識することなく自らを低くしているので、御国を賜物として受け入れ、そこに入ることが出来ると主イエスは言われております。

福永嘉彦

6月(区大会の月)例会プログラム

日時 6月18日(木) PM6:30~8:30
場所 大阪YMCA会館 9F

開会15分前 MET歌唱指導 正司泰子姉

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| | 司会 掛江康一君 |
| 1. 開会 | 山田 会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 柴田 健君 |
| 4. ゲスト紹介 | 山田 会長 |
| 5. 食前感謝-日々の糧を- | 一同 |
| 6. 晩さん | |
| 7. あいさつ | 次期中西部長 池田和弘氏 |
| 8. 新旧役員交代式 | 司式 次期中西部長 池田和弘氏 |
| 9. 新旧会長あいさつ | 山田 会長 |
| | 森 次期会長 |
| 10. 日本区大会 報告 | 大会参加者諸君 |
| 11. 「国際平和の記念サイクリングの支援について」 | 真島 担当主事 |
| 12. ニコニコアワー | |
| 13. 誕生日のお祝い | |
| 14. 役員会・委員会報告・YMCAニュース | |
| 15. 閉会 | 山田 会長 |

例会当番 藤本、河野、柴田、福永、鈴木、掛江

第2例会

DATE: 6月25日(木) PM6:30~8:30
PLACE: YMCA社会奉仕センター

DATES for MAKE-UP & FELLOWSHIP

6

1986 JUNE

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3 サウス	4 枚方	5	6 長野	7 紀の川
8	9	10 大阪	11 千里 高槻	12 堺 田辺	13	14 奈良 日本区大会
15 日本区大会	16	17 土佐堀 豊中	18 センチ アル①	19 河内 和歌山	20 泉北	21
22	23	24	25 センチ アル②	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

Statistics (統計)

5月例会出席状況 (在籍会員38名)		ニコニコ 献金	B F ポイント	ファン 5月末累計
メ	ン 22名	5月	5月	157,878円
出	席率 58%	14,450円	切手 2,500P	
メ	ネット 8名		現金 1,620P	
コ	メット 2名	累計	累計	
グ	ィンター ゲスト 2名	139,420円	切手 5,000P	
計	34名		現金 4,580P	

新役員紹介

- 会 長 森 庄司
副 会 長 藤井 保男 平田 雅利
書 記 松本 常晃 多田 幸子
会 計 山村 幸明
直前会長 山田 孝彦
担当主事 真嶋 克成
幹 事 杉本恭之助 中村 隆幸 山田 孝彦
山中 秀男

5月21日(水)第1例会

★第一部 ネットナイト



▲ポットラック おいしそう



▲花やいだムード



▲ご一家おそろいコメットのかわいい顔



▲Mr トーマスと山田会長



▲何を喰べようかなと鈴木謙介君



▲一同ワイズソング

★第二部 ゲストスピーチ

「伸びる子ども、伸びない子ども」



▲ゲストスピーチ 遠藤英子先生

★第三部 IBC 調印式



▲IBC調印式 司会の山中君
歓迎の辞 鈴木謙介君

WELCOME !

Guests & Visitors

- | | | |
|-----|-------|--------------|
| 小武内 | 忠 夫 君 | (大阪クラブ) |
| 遊 上 | 津恵子 | メネット (大阪クラブ) |
| 中 村 | 幸 子 | メネット |
| 中 村 | 圭 | コメット |
| 中 村 | 舞 | コメット |
| 柴 田 | 暢 子 | メネット |
| 山 中 | ちあき | メネット |
| 森 | 晴 美 | メネット |
| 鈴 木 | 美 藤 | メネット |
| 山 村 | 利 子 | メネット |
| 田 中 | 豊 子 | メネット |
| 杉 本 | 兌 子 | メネット |



▲IBC調印式
署名する Mr トーマス、山田会長
立会人小武内忠夫君(中央)

ニコニコ・フリーコメント (5月例会)

- 藤本 史郎 美味しいメネット手作りの料理に感謝
 杉浦真喜子 手作りのお料理、おなか一杯いただきました
 遠藤先生のお話、興味深く聞かせていただきました。
- 村田 貞夫 メネットの心づくしと遠藤先生の興味深いお話、そしてエルナグラムとのIBC締結すべてがワンドフルでした。感謝です。
- 山村 利子 司会をさせていただきます感謝します。
 平田 雅利 大変参考になる話、ありがとうございます
 掛江 康一 教会学校で中学3年生を担当している私としては、本日の遠藤先生のお話は大変有意義でした。感謝します。
- 中川徹太郎 遠藤瑛子先生バンザイ!!ととてもすばらしいお話、ありがとうございます。私にも子供が与えられたら遠藤先生に教えてもらいたいと思います。必ず!! (それには、必ず結婚が先ですがね)
- 松本 常晃 おいしい料理、どうもありがとうございます

- 小林喜自夫 入会初例会 4月度欠席のためにおわびします。
- 杉本恭之助 5月のGolden Week には往復 Sun FLOWER号で夜の船旅をエンジョイしながら、九州は阿蘇と別府で各一泊、心ゆくばかり旧婚旅行を楽しんで参りました。
- 福永 嘉彦 思わぬ珍しい数々の御馳走を頂き有難うございました。エルナグラムとの締結を祝します。
- 柴田 健 遠藤瑛子先生の素晴らしいお話、メネットの皆様に感謝して。
- 上月 英子 メネットさんの心づくしのお料理と楽しいお話(ゲストスピーカを始め鈴木氏の Speech等)に感謝して。
- 正司 泰子 美味しいお食事をありがとうございます御座居ました。
 森 庄司 エルナグラムクラブとのIBC調印を記念して。

YMCA TODAY

YMCAニュース



Bike for Peace '86 オオサカ～ヒロシマ～ナガサキ 国際平和年記念サイクリング

YMCA国際・社会奉仕センターが事務局になり昨日に引きつづき、バイクフォーピース 1986年(BIKE FOR PEACE '86)を実施します。

海外からはニュージーランド、北欧、アメリカの高校生など30数名が参加し、日本人も小学生から60才台の成人男女40数名が参加します。7月31日より8月6日まで、大阪ー広島間、8月7日より10日まで広島、長崎間を自転車で行動します。国際平和年の今年、平和と人類のしあわせを願い交流と友情の輪を広がることを期待しています。

あなたの力を貸して下さい

今、不足しているものは、人手(トラック運転手、英語通訳可能者、事務局ボランティア、サイクリング経験者など)、モノ(2~4トントラック、伴走用バンなど)です。これらを求めていますので、提供可能な方は至急ご連絡下さい

◎海外参加者のための100万エン募金にご協力下さい。

郵便振替口座：大阪3-3849
 バイク・フォア・ピース

◎記念Tシャツ(1枚1,000エン)を買って下さい。

◎ピースリボンにあなたの平和のメッセージを書いて下さい。広島までお届けしますので300円相当のカンパをお願いいたします。

問合せ：YMCA国際・社会奉仕センター(斉藤まで)

☎(06)344-1717

韓国セミナー

韓国の民衆精神と民衆文化の創造

講師 玄 永学 教授
 前韓国梨花女子大学教授(基督教学)
 関西学院大学交換教授

激動するアジアの中で、現在最もホットな注目を集めている韓国。経済的な発展と政治的に不安な状況のもとで、いま青年を中心に民衆文化の創造が静かなブームとなっています。

今回、フィリピンセミナーに引続き、韓国文化セミナーとして下記のように開催いたします

このセミナーでは、特に韓国の「かたわの劇」と仮面劇を通して、民衆の“恨”の精神をさぐります。

多くの方のご来場をお待ちしています。

主催 YMCA国際社会奉仕センター

記

日程：6月19日(木)、6月26日(木)

時間：午後6時30分～8時30分

受講料費：1,000円(2回通し)、1回の人 700円

定員：40名(会場の都合で定員になり次第締切ります。)

申込：YMCA国際社会奉仕センターへ電話又は直接お申込み下さい

会場：YMCA国際・社会奉仕センター

問合せ：06-344-1717

YMCA協力会員へのおねがい

すでに、お知らせいたしてありますが、ワイズメンの会員はYMCAの会員になっていただくことが原則となっています。

大阪YMCAでは「協力会員」という形で会員登録をしていただいています。

会費は1年間20,000円以上となりその用途は青少年指導者養成のため、国際協力奉仕プログラムのため、地域社会奉仕のために使います。

現在、大阪YMCA全体では、会員数は、約1,600名、会費額は3,000万円弱となっています。

まだ会員登録されていない方は6月の例会か国際社会奉仕センターにご連絡下さいれば幸いです。

HAPPY BIRTHDAY

June の誕生石

6月の誕生石はagate(めのう)であり、health and long life(健康と長寿)を象徴するこまかい石英の一種で鋼鉄よりかたく、美しい縞模様をもつ、その色は白色から灰色に青・黄また黒色にまでおよび、種類は豊富である。

鈴木 美藤メネット	6. 4
横山 豊君 (1947)	6. 13
照屋 貞夫君 (1942)	6. 13
平田由喜子メネット	6. 20
照屋 育子メネット	6. 24
平田 雅利君 (1943)	6. 25
黒田 俊子メネット	6. 26

お詫び：5月号、杉浦眞喜子姉、5月8日生がもれていましたのでお詫び申し上げます。



June の花

A plant from which honey is sucked by bees.(ミツバチが蜜をすう植物) すなわち honeysuckle(スイカズラ)が6月の花であり、その象徴するものは devoted affection (献身的愛情)である。



COMINGS & GOINGS

山中 秀男(わがクラブのチャータープレジデント)は、社会で長崎の岡政(百貨店)社長に外向、5月末赴任。メネットちあきさんも同行。新居は長崎市木鉢町1丁目109-17、電0958-65-2227、勤務先電0958-22-3121。諸兄姉によりしくと伝言あり、時折こちらの例会に顔を出されることも。いづれは長崎クラブに転会かも。

杉浦眞喜子会員は6月末から9月末までカナダ、エドモントン市にある州立アルバート大学に招かれ専門研究をつまけてこられる由。帰来後のスピーチをたのみます。

Y'S MENETTES & Y'S LINGS (メネット コメット)

メネット会長 田中 豊子

6月となりました。私の会長任期も今月で終わります。この10ヶ月間のメネット会の活動の御報告を致します。4月5日に六甲の山田メネット宅の新居にお邪魔して、(出席者5名)親睦と5月21日のメネットナイトの講師について話合いました。4月28日は鈴木メネット宅で、親睦を兼ねてメネットナイトの持ち方、役割等について細かな打合せをいたしました。(出席者6名)5月9日鈴木メネット、杉本メネット、私と大丸梅田店へ食品購入下見及び予約に行っていました。(山中メネットの御紹介でしたので、当日は注文外の量と品で大変豪華でした。)

当日は会長開会宣言の後、司会山村メネット、聖句朗読杉本メネットで始められました。講師は山田会長の御紹介で、神戸大学附属住吉中学の遠藤瑛子先生で「のびる子、のびない子」の題でお話をうかがいました。立っている精神的基盤が異なる、あいさつの出来る子供になる、大切な事だと思いました。久しぶりに中村メネットが二人のかわいい盛りのコメットと御出席になり、又正司メンは沢山の美しいバラの花を、その他のメンから御寄贈いただき感謝でございました。遠藤先生には、センテニアルメネットのピースコースジを作って差し上げ、会の終りまで楽しくすごされて

いた様でした。晩さんも9名のメネットの手作り料理に加え大丸店より購入した料理と合せて、沢山いたゞき、お土産にもいたゞいて帰りました。

インドからのゲストもいらっしやって好評なメネットナイトを過ぎました。尚初代会長山中ちあきメネットは御主人の御転任で長崎に住居を移されました。時々こちらにお帰りになる予定なので、メネット会にお迎えしたらと思います。会計の報告として、国際プロジェクト、国内プロジェクト、事業主任支援金に各々3,000、合計9,000支出いたしました。又この度のメネットナイト費としてメンの会費を頂戴致しましたので、諸経費支払後の残金 60,000、をメネット会活動資金に繰り入れました。6.

山田メネットよりお引受けして10ヶ月、私自身3つの役と娘の高校卒業、大学入試、私自身健康の不安定さに事よせて活動致しませんでした。誠に申し訳なく思っております。鈴木メネット、山中メネットを始めメネットの方々のお支えと御協力に深く感謝いたします。7月より森晴美メネットにバトンタッチ致します。どうぞ一層の皆様のお支え御協力をお願い申し上げます。どうもありがとうございました。

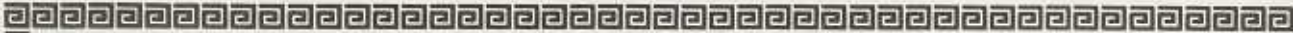
以上

THE CENTENNIAL

IBO WORLD NETWORK



WELCOME MR. THOMAS



Brother Club Certificate



THE Y'S MENS CLUBS OF
ERNAKULAM and **OSAKA-CENTENNIAL**
 Region **WEST-INDIA** Region **JAPAN**

Have this day **21TH MAY, 1986** agreed to be

BROTHER CLUBS within the organization of
Y'S MEN INTERNATIONAL

AS BROTHER CLUBS WE WILL WORK FOR A CLOSE RELATIONSHIP FOR THE MUTUAL
 BENEFIT OF OUR MEMBERS, AND WITH JOINT EFFORTS WE WILL STRIVE TO FULFIL
 THE AIMS OF OUR INTERNATIONAL ORGANIZATION IN ACCORDANCE WITH THE
 MOTTO:

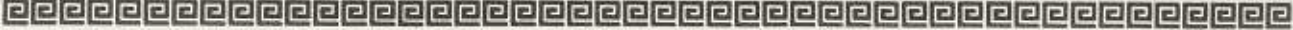
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

In witness whereof we hereunto affix our signatures in the hope that friendship and good relations between members of both clubs will continue

President *[Signature]* President *[Signature]*

Y's Mens Club of **ERNAKULAM** Y's Mens Club of **OSAKA-CENTENNIAL**

International Service Director *[Signature]* *[Signature]*
c.k. Guyon *[Signature]*



1986年ワイズ国際大会に デンマーク女王

今年の国際大会（於、デンマーク、オーフス）は7月21日から開かれますが、この開会式に、デンマークのマルグレーテ女王が参加されます。マルグレーテ女王は衣装デザイナーとして有名で、今度新しくつくられるアンデルセンのテレビ映画では、登場人物の衣装デザインを担当されるそうで、今から話題になっています。

そして報酬は規定通り受取られるそうですが、全額寄付されるとか……。映画そのものは1987年のクリスマスに放映されるそうです。今からでもおそくありません。デンマーク大会に行きませんか？

NUUANUからのプレゼント

土佐堀クラブの35周年の祝典に来日した、RAYMOND SETO氏（ハワイ、カウムキクラブ）からマカデミア・ナッツの大きなパッケージを二つ受取りました。

これはブラザークラブ、NUUANUからのプレゼントです。何時もセンテニアルクラブのことを考えてくれて、感謝です。礼状を谷川君から出してもらいました。

ハワイ大会 1987

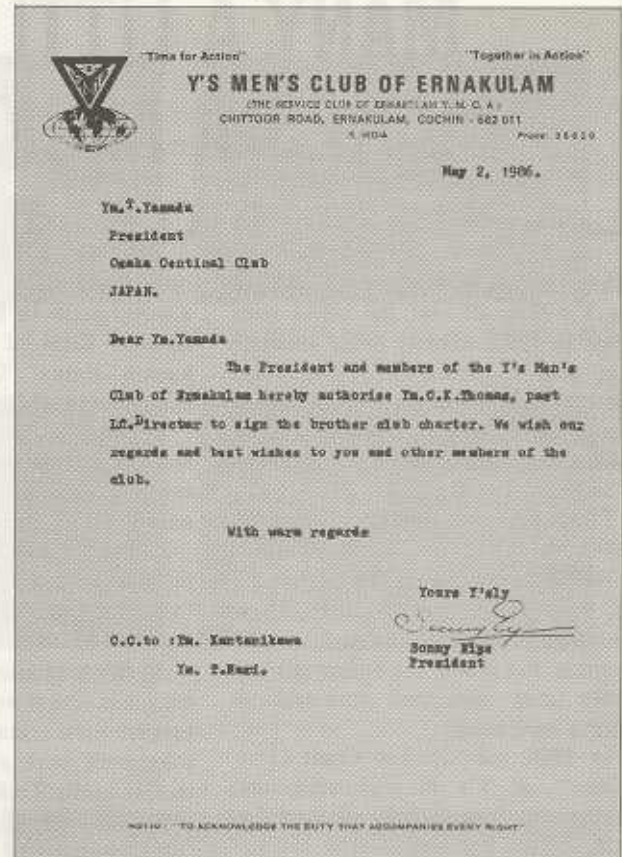
ハワイの区大会が5月23、24、25の三日間PACIFIC BEACH HOTELで開かれます。来日中のR.SETOワイズメンから、来年の大会は是非早く計画して、ハワイを訪問するよう誘いがありました。

香港C.W. PINGさん来日

香港のDG チョウ・ウィン・ピンさんが5月16日来日しました。ピンさんは大阪センテニアルと香港ボヒニアクラブが、ブラザー締結の際、種々、現地でお世話願った香港地区の部長です。

5月17日（出）に鈴木、杉本、谷川の三君と夕食をともにしました。ピンさんの報告によると今年の7月からボヒニアクラブの会長はPEGGY-

ERNAKULAM President の
Mr. Sonny Eipe から
C.K. Thomas 氏を署名の代理として
オーソライズするレター



SHUMさんだそうです。そうです！あのCHARITY BALLの夕、プロ並みの独唱を披露してくれた彼女です。来年3月のCHARTY BALLにも、大阪センテニアルの参加を期待しているそうです。

香港ボヒニアのワイズ来日

3月香港訪問の際に会ったメンバーの一人NANCY TINGさんが御主人と6月はじめ来日する旨の連絡がありました。東京から来阪の日時の連絡があるはずですが、彼女は御主人とオモチャの輸出の仕事をしています。



ちりも積もれば山となる

MANY A LITTLE MAKES A MICKLE

—ワイズ TOF 献金—

When the seeds for a new venture for Y's Men all over the world were sown in 1973, nobody could imagine that over a period of twelve years the "Time of Fast" programme would contribute a total of about US\$ 600,000 to YMCA programmes around the world.

From the early beginnings of the movement, Y's Men have been involved in rendering service to their local YMCAs and communities. There had also been international service projects, but it was not before the late 1960s that concerted international efforts were made.

In 1969, the "Human Crisis Committee" of Y's Men International planted the idea to help alleviate human suffering through some kind of "self denial". A "Day of Self-Denial for 1970 YMCA Refugee Work" was launched which was observed by all Y's Men on 13 December 1970. They were asked to skip a meal and to give the money they would have spent to the appeal fund. A total of US\$ 3,794 was collected and sent to the World Alliance of YMCAs for its refugee work.

In the following years, the idea was pursued with varying degrees of "aggressiveness", and a few thousand US dollars raised for YMCA relief work in Bangladesh and the Philippines.

A real push came in 1973 at the International Convention in Kingston, Jamaica. The delegates were challenged to give money for a simple school building for children of low-income families in Jamaica to leave a tangible remembrance of their successful International Convention. A total of US\$ 5,000 was raised during the Convention, and the local Y's Men's Club of Kingston raised another US\$ 5,000 during the following year.

The success of this effort convinced Y's Men that a project through which everyone could make a small contribu-

tion, could reach sizeable amounts on a world scale. In 1974, the project was named "Time of Fast" as it is still known today. The idea remained simple and had two main aspects:

1. Through skipping a meal (or more) everyone would in a small measure feel what it means to be hungry, and

2. each individual member would make an almost insignificant financial "sacrifice", but added together, large amounts could be collected.

At the beginning, most of the programmes which were supported by the project were related to relief and development work, and it was easy to visualize human suffering. But in 1981, after Y's Men International and the World Alliance of YMCAs had signed the "Principles of Partnership", Y's Men took up a new challenge.

The World Alliance of YMCAs had undertaken an ambitious Leadership Development Programme in 60 Third World countries which was largely funded (over 60%) from non-YMCA sources. The participating YMCAs were asked to cover local expenses, but about 20% of the total of SFr. 2,200,000 were still missing to be able to carry out the programme. The World Alliance turned to its "new partner", Y's Men International, propo-

posing that it should commit itself to raising SFr. 150,000 annually during three consecutive years.

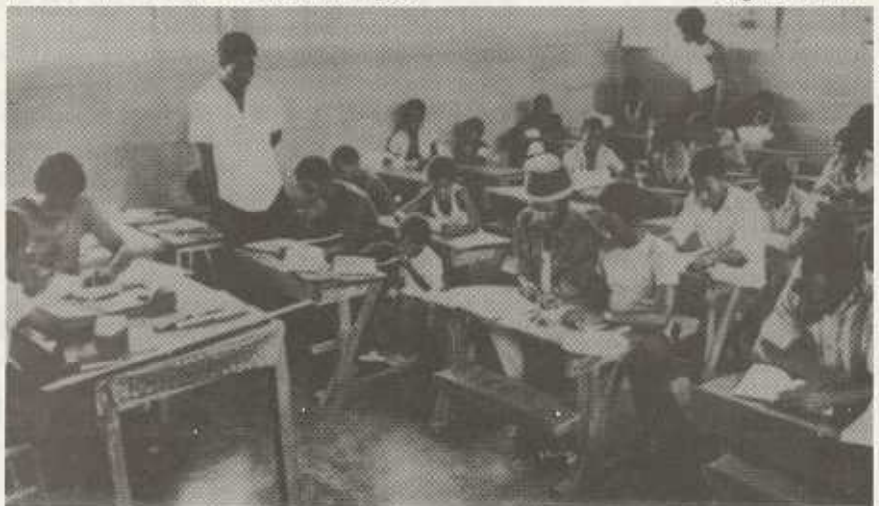
This was a completely new concept for the Y's Men's "Time of Fast" project. How could a leadership training programme be attractive for promotion among local Y's Men? And if this could be done for one year, how could it be done for a second and a third year?

Y's Men International responded to the challenge and committed itself for SFr. 150,000 the first year, a commitment which was renewed for two more years. By the end of June 1985, Y's Men International had contributed the promised SFr. 450,000, thus helping the World Alliance of YMCAs to help its most needy member movements. But the successful fundraising campaign was also a benefit for Y's Men International. The programme had offered opportunities for development education among its members, and it is true to say that today many Y's Men around the world have a much better understanding of what YMCAs world-wide are doing.

In 1985/86, the "Time of Fast" project will support YMCA projects in Bangladesh, Ghana, Senegal, and Panama, all related to underprivileged children. Promotion material has been printed in seven languages (English, French, Spanish, Swedish, Japanese, Korean, and Chinese) and sent to all 1,250 clubs. A slide presentation is also available. The goal is to raise US\$ 100,000.

Many small personal contributions make it possible to reach sizeable sums of money - or as the proverb says, "Many a little makes a mickle". This is the learning of the "Time of Fast" programme.

Ingvar Wallin



長崎は今日も晴れ

山中 秀男

大阪センテニアルの皆様、長崎の地にやって来ました。御承知の通り長崎は中世以来キリスト教との関りも深く、歴史の教科書そのまゝの名所旧蹟は興味深々たるものがあります。長崎のワイズメンズクラブは名簿の最後に載っている最果てのクラブで大阪クラブをスポンサークラブにして1948年に出来たセンテニアルとは兄弟クラブです。

長崎駅から西へ浦上天主堂に向って直ぐの所に、YMCAがありそこをベースにしています。毎月第2月曜日が例会で次回よりメネット同伴で出席の予定です。

通勤はバスですので毎日この前を通りますが、この後の小高い丘の上に日本26聖人殉教地があり1597年、京都、大阪地方で伝導していた、フランシスコ会宣教師6名と、日本人信徒20名が磔刑になり、ここ西阪公園に像と記念館で今にまで信仰の厚さを残しています。

キリスト教以外に寺院も多く寺町一帯には浄土宗日蓮宗、禪宗各宗派が墓と共にびっしり並んでいます。

神社も多い。八坂神社もあり祇園祭もしているがメネットちあきの遠縁に当る京都八坂神社の鈴木宮司に聞いたところ知らないという。日本の神様はおおらかなもので、各地で同じご神体をまつり信仰していても一向にかまわないとの事だ。

長崎での神社ではおくんち祭で名高い諏訪神社があげられる。信州の諏訪から御神体をいたゞいでいるのでこの名があるとの事。この宮司が前記鈴木宮司の親友とあって歓待していたゞいた。諏訪神社は彦山を背景にし、この山のおかげで山の向う側にある浦上に落ちた原子爆弾の爆風を防ぎ神社を守ることが出来たという。諏訪神社、彦山に出る月は長崎っ子の自慢の種で江戸の川柳子蜀山人が長崎奉行所に勤めていた時、ものにした一句が今に口伝えされている。

彦山の山から生ずる月はよか月ばい
こげんよか月は、えっとなかばい

境内に月見茶屋があり、ぼた餅が名物、メネットと二人で1皿500円、きなこ餅2個、あんこ3個、長崎港を見ながら賞味した。

長崎は坂が多いから歩くのが大変だ。今も荷物を馬の背に振り分けでくくりつけ”はいどうどう。”とやっている。人力車も巾をきかせている。1人乗りと2人乗りがあり長崎市内3時間20分のぶらぶらコースはお1人様12,500円、この車夫が明治以来外人とみれば同じ英語で話しかける。

I go You go Suwa temple, Tensen go /

神社の方も心得たもので英文のおみくじを用意している。大吉 best luck, 末吉, lucky in the end 半吉, half luck, 凶, bad luck, 大凶 waste,

くんち祭は寛永11年徳川家光の時代キリシタン弾圧、神道の隆盛、天領での治安を良くする目的で踊り、イベントの奉納を奨励し始められたもので10月7、8、9の3日間、6月1日がけい古始めて踊り町はシャギリ(横笛)の音を響せて小屋入りする。これに合わせて街毎にくんち祭さじき席の券が売り出されムードが盛上ってくる。祭はこれ以外にペロン競技、精霊流し、と年中ありいつでもホームステイさせていたゞきますので是非お越し下さい。

〒850 長崎市木鉢1丁目109-17

TEL 0958-65-2227

自宅前50mの所になぎさが迫り小さな棧橋もあり愛犬Jimmyとのジョギングの終点にしています。漁船も時々ここから水揚げする。先日も立魚魚船の漁師が頭やしっぽのとれた売り物にならないのをバケツ一杯持って行けとくれる。家の右手岬の丘の上に木鉢カソリック教会が朝晩礼拝の鐘をならす。負けじとゴーンと打つ妙なる信仰のシンホニーが鳴り響く。

チャーター以来大変お世話になり楽しく過ごさせていたゞきました。メネットちあき、コメット裕剛、圭、それぞれに御指導いたゞき、育てていたゞき厚くお礼申し上げます。

再度、私達のおります間には是非お越し下さい。



風
響
樹

「たかが〃呼び名、されど〃呼び名。」PART II

谷川 寛

二月号に杉浦さんが書かれた「たかが〃呼び名、されど……………」大変興味深く読みました。私もこれに近い体験をしたことがあります。

外国人で、日本人とのつき合いが多く、日本の習慣を知っている人は、私達をファーストネームで呼ぶことは少ないようです。彼ら仲間ではファーストネームで呼んでいるのに、日本人に対しては「MR. TANIKAWA」とくると、疎外感すら感じます。この場合、彼らにファーストネームで呼んでほしいと思ったら、やはり思切って「私を〃カン、と呼んでほしい。その代り、私もあなたを〃ジョン、と呼ぶから」と申し出ることにしています。このやり方は心理的抵抗も少なく、スムーズに雰囲気の中に入ってゆける一つの方法です。

たゞ、目上の相手に対しては、これも言い出しにくいものです。この場合は、やはり相手が自分をファーストネームで呼んでほしい、と言いつつのを待つか、それとも少し親しくなってから、このように提案するのも一つの方法だと思います。

外国人同志で、ファーストネームで呼び合っている中で、自分は日本人として彼らを気易くファーストネームで呼びにくい場合、私は彼らのファーストネームのあとに「さん」をつけて「ジョンさん、と呼んだり、または彼らのラストネームに同じく「さん」をつけて「スミスさん、を使うことにしています。この日本人の敬称「さん」をつけての呼び方は、外国でもかなり普及しており、殊に国際ワイズの世界ではよく使われています。こちらが、「INGVAR-SAN」、「JOE-SAN」で手紙を出すと「KAN-SAN」で返って来ます。皆さんも一回やってみて下さい。

それにしても、この〃呼び名、杉浦さんの言われる通り、「たかが〃呼び名、されど〃呼び名。」だと思います。

Bulletin Board

5月切手、現金協力者は以下の人々。ご苦労さん。
桂、河野、藤本、正司、福永、杉浦、森、中村、鈴木、平田、上月、掛江、他教氏

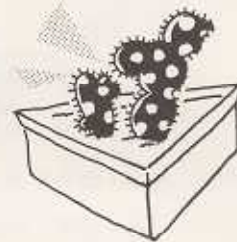
1985~1986 役員 (Officers)

会 長	山田 孝彦	会計監査	上月 英子
副会長	森 庄司	担当主事	田中 穰二
〃	藤井 保男	幹 事	杉本恭之助
書 記	藤本 史郎	〃	中村 隆幸
〃	松本 常晃	〃	山中 秀男
会 計	浦野 啓一	直前会長	中村 隆幸

EDITOR'S NOTE WA I ZU MAN 和井寿 満のひとりごと

- ☆ とうとう年度最終号をむかえまして、1年間のご協力感謝します。
- ☆ どうやら次年度も担当せよと過分の評価をいたゞいている様で恐縮です。マンネリにならぬよう今から頭が痛いところです。
- ☆ 要領も少しわかって来たので、これからはメンもメネットも指名で誌面登場願いますのでどなたも快くお引き受け下さい。

(ブリテン 村田貞夫 〒659 芦屋市朝日ヶ丘町3-8-305)
担 当 TEL 0797-32-9204





The International Association of Y's Men's Clubs
Middle West District, Japan Region

中西部通信

1983—84年

中西部次期部長 横山慶昭

1983年5月発行

第一報
予告

9/22^(木)-23^(秋分の日)
九月

第33回中西部会ごあんない

会場 大阪YMCA 六甲 研修センター
ホスト 大阪サウスワイズメンズクラブ

薫風そよぐ季節となりました。皆さまのワイズダムのご奉仕感謝申し上げます。

今年は国際会長の意向を汲んで、部会を9月に開催することになりました。友情、交わり、認識を一層深めるために、一泊プログラムを計画いたしました。

勿論、9月23日の部会当日だけのご参加も歓迎いたします。中西部会の主役はあなたです。9月のさわやかな六甲山上で、ご家族そろって主役を演じてみられませんか。

中西部次期部長 横山慶昭
大阪サウス次期会長 廣島義夫
中西部会実行委員長 山口肇

22日 夕食
部会イブプログラム
第三回評議会開催 / 懇親会
宿泊 (ミッドナイトプログラム)

23日 朝食 (宿泊者)
中西部会
昼食
部会プログラム立案中

会費	22—23日	メン	9500円
	(イブと部会)	メネット	9000円
		コメット	4500円
登録費	宿泊費	食費 (夕・朝・昼)	

23日	メン	3500円
(部会のみ)	メネット	3500円
	コメット	1500円
登録費	昼食費	

(費用は多少変わる場合があります)

お問い合わせは…

中西部事務局内 石原昌一(サウス)へ
☎(0797)84-1668事務所 / 84-1788自宅

12月27日

7.11.12

任を終え あらためてセンテニアルを考える

山田孝彦

「着こなそう ふだん着のワイズダム」とテーマを掲げてからもう一年が経ちました。日々の暮らしのなかでいつも、さりげなくワイズダムがあるようになれば、と願ったつもりでした。秘めこの一年はまさにそんな日々でありました。毎日郵便受けにワイズに関する書類の人らない日はないといってよいほどです。日本区から、中西部から、他クラブから色々な情報・通信・指令・アンケート・アピール等々。さりげなくというよりはどやどやといった風に私の生活の中へ入りこんで来たわけです。これらの情報を出来るかぎり素早くお届けするようにしたつもりですが、果たしてどれだけ皆さんの暮らしのなかに加えられたのでしょうか。

感謝

す
わる
こと
の
び
き
た

日本区大会で他クラブの活動報告を聞いて、わかセンテニアルの活動などまだまだ稀薄で初級入門並だと痛感しました。とは申せ大会で表彰を受けた3つの事業活動はそれなりの評価を得たものと言えましょう。

第一はIBC賞。ホビニア・エルナクラム2つのブラザークラブを結んだことは、わかクラブの歴史に記念すべき成果であります。谷川国際議員・堀IBC委員のご尽力のたまものと感謝します。

何より嬉しいことは、ブリテン優秀賞を得たことです。毎月毎月趣向をこらして楽しく見やすく読んでいて内容溢れるものに仕上げた下さった村田編集長の異才×努力に喝采。そして毎月聖句を担当して戴いた福永委員、豊富なワイズ体験をもとに啓蒙の記事を寄せられた鈴木元国際会長、谷川国際議員に敬意を表します。

第3の受賞はBF達成賞。これはもう鈴木BF委員が顔を合わすことに声を大にしてのアピールのたまもの。毎月たとえ少しづつでも皆さんが持ち寄ったことの集積でもあります。一人一人は微力でも全てのワイズメンが手を染め汗を流して大きな成果をもたらすというワイズダムの原点ともいえるべきこの切手集めに今後とも意義を持ちつづけて行きたいものです。

の意気

そのほかTOF基金は基準を越えていながら納期に遅れたため失格となり惜しいことをしました。何よりもTOF国際事業主任として東奔西走された谷川さんのホームクラブとして、支援を形に示せなかったことは誠に申し訳なく事務当局として深くお詫び致します。大会で賞を取ることが私達の活動の目的ではありませんが、達成感を確認しながら次期へのはずみするひとつの機会だと思います。

不評
の活
性
化
や

かくして5年目を迎えるセンテニアルを森会長へバトンタッチすることになりましたが何かといろいろの課題を未解決のまま申送るようなことになり、ただただ私の力不足をお詫びするばかりです。最後ながら一年間いろいろサポートして下さった役員・委員の皆さん、特に陰の下請け仕事を気持ちよく支えて戴いた森・藤井両副会長と松本書記に厚く御礼申し上げます。

と
IBC
の
今後
の
協
助
を
心
か
け
て